



## TOP MESSAGE トップメッセージ

変化する社会に  
グループの総合力をもって対応し、  
持続可能な経営を推進します

三重交通グループホールディングス株式会社  
代表取締役社長

原 恭

平素より三重交通グループの事業に対し、格別のご理解を賜り誠にありがとうございます。

2020年6月16日開催の第14期定時株主総会並びに取締役会におきまして、代表取締役社長に選任され就任いたしました。小倉前社長の方針を引き継ぎ、一意専心社業の発展に全力を尽くす決意でございます。なにとぞよろしくお願ひ申しあげます。

当社は、三重交通グループを統括する純粹持株会社として、グループの基本戦略を策定・遂行するとともに、各社の事業活動を推進・支援しております。そして、三重交通ブランドの信用力を基に、運輸、不動産、流通、レジャー・サービスの異なる4つの部門を連携、相互補完させながらリスクに強い体制を構築して、地域に密着した総合生活産業を

営む企業グループとして持続的な成長を続けていくことを目指しています。さらに、お客様や地域社会のお役に立ち、信頼していただくことで企業グループが存続できると考えております。当社グループの根幹は運輸業であり、長年にわたりバス事業を営み、地域住民の足として公共的役割を果たしてきた知名度と信用力が最大の財産です。これが、不動産、流通、レジャー・サービス各事業の信頼の源泉となることで、事業規模を拡大してまいりました。この信頼の源泉を支えるものが「安全」です。当社グループは常日頃から安全に対して絶えず高い意識を持って取り組み、組織全体で緊張感を高め、模範となる体制の堅持に努めているところであります。今後も引き続き「安全・安心・安定・快適なサービス」を皆様に提供してまいります。

## 2020年3月期決算について

2020年3月期の営業収益は、前期比2.2%減の1,039億26百万円、営業利益は、17.1%減の59億18百万円、経常利益は、16.7%減の58億74百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、17.4%減の37億60百万円となりました。これは、2020年2月以降国内で新型コロナウイルス感染症が拡大したこと

により、当社グループも、3月以降の学校休業や外出自粛等の影響を大きく受けたためであり、特に人々の移動に関わるバス、タクシー等の運輸業、ビジネスホテル・旅館等のレジャー・サービス業、そして東急ハンズ等の流通業は、厳しい結果となりました。

## 新型コロナウイルス感染拡大に対する対応

当社グループは、コロナ禍の厳しい環境に対応するためにも、まずは中期経営計画の基本方針の一つである「安全・安心・安定・快適なサービス」の提供を実現できるよう、グループ一丸となって取り組んでまいります。運輸業では、グループバス会社がいち早く全車両への抗菌・抗ウイルス加工の施工を計画し、観光バス・乗合バスともに2020年11月には全車両の施工が終了いたします。そのほか、車内の換気や消毒、バスツアー参加

のお客様への検温等を実施し、お客様に安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。不動産業では、対面を避けた見学会や相談会等も行いました。流通業やレジャー・サービス業においても、フロントやレジ前の混雑を避ける工夫や、レストランの座席の間隔を確保する等、3密を避ける対策を行っています。また、従業員の感染防止対策として、テレワークやWEB会議なども積極的に取り入れています。

## WITHコロナへの取組みとその先を見据えて

新型コロナウイルスの影響は当面続く可能性があり、テレワークやWEB会議の普及等によって、たとえ収束しても我々の事業分野においては完全に以前の状態に戻ることは難しいのではないかと考えています。そのため、引き続き新しい時代にも対応すべく、様々なアイデアを出し柔軟な発想で対応していく必要があります。例えばグループの中では、ビジネスホテルで宿泊時における地元飲食店からのデリバリーサービスを始めたり、三重県内においての県外移動制限期間にはホテル、ロープウェイ、ドライブイン、ガソリンスタンド等が連携した「三重県民限定プラン」を企画したりと、新たなライフ・ワークスタイルに沿ったサービスの提供も行っています。また、「Go Toトラベル・イトキャンペーン」においても旅行ツアーをはじめ様々な分野で参画し、顧客確保に向けて取り組んでいます。さらに、収束した後の、その先を見据え、2019年に策定した中期経営計画を進め、経営基盤を固めてまいります。2020年4月には「名古屋

三交ビル」が開業し、ホテルフロアの「三交インGrande名古屋」がオープンしたほか、グループ6社が入居しました。また、当ビル近隣において、第2名古屋三交ビル(仮称)を2024年春の開業を目指して計画しており、名古屋地区の拠点として機能強化を図ってまいります。景気変動の影響を受けにくい環境エネルギー(太陽光発電)事業については、2020年10月に完成した「津メガソーラー社の街中勢バイパス第5発電所」を合わせて、発電規模は114メガワットまで拡大いたしました。そのほか、2020年3月より進めてまいりました農業では9月に高糖度トマトの出荷が始まりました。また、バス事業についても三重県内初となる連節バスを12月末に運行開始する予定です。(中期経営計画については8~10ページを参照)当社グループは、今後も皆様と協力して変化する社会へと立ち向かい、「持続的な成長・発展の実現」を目指して取り組んでまいりたいと考えていますので、今後も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申しあげます。